

「福岡工業大学研究論集」投稿の手引き

1 論文

原則として、図書館ホームページの研究論集テンプレートを使用する。

1. 原稿の構成

- (1) 原稿の構成は原則として次のとおりとする。
 - (a) 表題 (和文の場合は英文併記)
 - (b) 著者氏名及び所属
著者氏名及び括弧の中に所属学科または課名を記載する。他大学や企業等の共著者がある場合は、共著者名及び括弧の中に大学名・学部名・学科名 (または企業名, 部・局名) を記載する。和文の場合は英文を併記する。
 - (c) Abstract (英文要旨)
研究内容を英文100語程度にまとめて記載する。
 - (d) Keywords
固有名詞・略号等を除いて原則小文字とし、5組程度が望ましい。
 - (e) 本文, 本論
図, 写真, 表などを直接挿入することができる。
 - (f) 参考文献
- (2) 原稿は、印刷したものを2部大形封筒に入れ、投稿申込書に楷書で論文題名、氏名及び本文・図表等の枚数を明記する。また、原稿ファイルを記録した電子媒体 (FD, CD など) を添付するか、電子メールで送る。
- (3) 大学院学生の博士、修士論文要旨は、第(1)項の(a)・(b)・(c)及び(d)に準じて作成する。

2. 和文原稿の書き方

- (1) 原稿は A 4 フォーマットで、MS-Word (または TEX) を用い1頁当りフォントサイズ9ポイントで26字詰め47行の2段組とする。
- (2) 原稿は横書きとする。
- (3) 原則として常用漢字・ひらがな・現代かなづかい・アラビア数字を用いる。
- (4) 術語は、文科省制定の学術用語又は各学会制定の用語を用いる。
- (5) 句読点・括弧などは、原則として原稿用紙の1画を用いる。句読点は全角の“,”と“.”を使用する。
- (6) 字体は MS 明朝で、英数字は原則として Times New Roman とし、半角を用いる。
- (7) 文頭、改行の冒頭は一画空ける。

3. 英文原稿の書き方

- (1) 原稿は、A 4 フォーマットで MS-Word (または TEX) を使用し、1頁当りフォントサイズ9ポイン

トで47行の2段組とする。

- (2) パラグラフの冒頭は、4ないし5字分空ける。
- (3) 句読点は半角の“,”と“.”を使用する。

4. 用字・用語及び略語

- (1) 本文の区分けは、大見出し・中見出し・小見出しなどを明確にし、それぞれ1, 2, 1, (3)のような記号を用いる。
- (2) 外国語の人名や術語は、原語のつづりで書く。
- (3) 外国語の音訳は、カタカナを用いる。
- (4) 本文最初に使用されるローマ字省略語は、括弧内にそのつづりを書く。

例 CAI (Computer-Assisted Instruction)
LSI (Large Scale Integrated Circuit)

5. 数式

- (1) 数式には、組版したとき面積を取らないように表示することが望ましい。例えば

$$\frac{\cos \frac{1}{x}}{\sqrt{a + \frac{b}{x}}} \text{ は } \frac{\cos(1/x)}{(a+b/x)^{1/2}}$$

のように書く。

また、文中に式を挿入するときには、例えば、 $(a+b)/c$, $\exp(-t/r)$, $\text{Im}\{a^2/(x^2+a^2)\}$ のように書く。

- (2) 数式に付ける番号は一貫番号とし、行の末に括弧の中に入れて示す。
- (3) 式の中の記号の説明は、式の下に入れる。例えば、
表皮の深さ δ [m]は

$$\delta = 1/\sqrt{\pi f \mu \sigma}$$

但し、 f : 周波数 [Hz]

μ : 導体の透磁率 [H/m]

σ : 導体の導電率 [S/m]

6. 図・写真及び表

- (1) 図・表は、番号を図1・表1または Fig. 1・Table 1 のように書き、電子原稿中に挿入する場合または挿入できない時は、別紙として添付し、原稿中に挿入場所を指定する。
- (2) 別紙で添付する図は、そのまま写真製版できる (camera-ready) 鮮明なものとする。但し、製版の縮小率を考慮して線の太さや字の大きさに十分注意すること。
図は墨又は製図用インクを用いて墨入れすることが望ましい。コンピュータによる描画も、鮮明なものであれば認められる。
- (3) 別紙で添付する図・表は、一枚毎にその余白に、投

稿者氏名と図・表番号、及び縮尺の指定（幅寸法）を記入する。表題及び説明文は別紙に図・表番号順に一括して記載する。

但し、写真は厚めの台紙に添付することとし、刷り上りは原則としてモノクロームとなる。

図・表・写真のカラー印刷は、別途費用を著者が負担することにより可能である。

7. 参考文献

- (1) 参考とする文献は、上付きの添え字¹⁾又は^{2,4-7)}のように表示し、本文の末尾に列挙する。なお文献の番号は、原稿1編毎に一貫番号にする。
- (2) 文献の記載方法は、次の形式を原則とするが、学問分野によって記載方法が異なるときはそれぞれの慣行に従うことは認められる。文献の著者が複数のときは全著者名を認載し、...*et al.*や……等、などの第1著者だけを書くようなことは避ける。
- (3) 雑誌の場合
以下の例のように、著者名：雑誌名、巻(号)（発行年）頁の順に記載する。
T. D. Xiao, K. E. Gonzalves and P. R. Strutt : J. Am. Ceram. Soc., 76(4) (1993) 987.
畠中憲之, 栗原 進 : NTT 基礎研究所の研究活動, 4 (1994) 80.
- (4) 国際会議などのプロシーディングスの場合
以下の例のように、著者名：プロシーディングス名、開催地、編者名（出版社、出版地、発行年）頁の順に記載する。
M. Kaminska, E. R. Weber and C. Jagadish : *Proc. 8th Conf. Semi-Insulating III-V Compounds*, Singapore, ed. M. Godleski (World Scientific, Singapore, 1994) p.327.
- (5) 単行本の場合
和書の場合は、以下の例のように著者名：書名、発行所、発行年、頁（引用の場合）の順に記載する。
谷村 功 : 無線通信工学, コロナ社, 昭和35年, p.105.
洋書の場合は、以下の例のように著者名：書名、編者（編者がある場合）（出版社、出版地、発行年）頁と順に記載する。
B. Jaffe, W. R. Cook and H. Joffe : *Piezoelectric Ceramics*, eds. J. P. Roberts and P. Popper (Academic Press, London, 1971) p.136.
E. Podolski and G. Borman : *Plasma Acceleration*, ed. S. W. Kash (Stanford Univ., Stanford, 1960) 2nd ed, Vol. 1, Chap. 3, p.12.
- (6) 雑誌の略記形式は、それぞれの学問領域の慣行に従う。

II 「学術論文、著書、学会等における講演」一覧表

1. 記載項目は、学術論文・著者及び学会等における講演の区分毎に、氏名・題目・発表機関及び年月を一覧表形式で記述する。用紙又は記述用媒体については別に定める。
2. 氏名の欄
 - (1) 氏名欄には発表の著者である本学専任の教職員及び本学大学院学生並びに学部学生の氏名を記載する。
 - (2) 共著者等がある場合
 - (a) 共著者等の代表が、代表者の所属する学科(教室・部課)内のときは共著者等の氏名を連記する。
 - (b) 共著者などが代表者の所属する学科(教室・部課)以外のときは(a)に準じて連記し、氏名に学科(教室・部課)名を記載する。
 - (c) 共著者等が、本学の者以外のときは「共著者3」又は「Coauthors 3」等と記載する。
3. 学術論文は「掲載誌・巻・号・頁・年月」の欄に、掲載誌、巻、号、頁(年、月)の順に記載する。
4. 著書は「発行所・年月」の欄に、発行所(年、月)の順に記載する。
5. 学会等における講演は「掲載誌・掲載番号・年月」の欄に、掲載誌、掲載番号(年、月)又は掲載誌巻・号、頁(年、月)の順に記載する。
6. 掲載誌については、誌名の統一を図るため、別表に示す主要雑誌略語表による。この表に含まれないものはできるだけ省略しないで表示する。
7. 年月は西暦年を用いて(1994, 6)のように記載する。
8. 用語
 - (1) 各項目毎に原則として日本文・欧文等の何れかに統一する。
 - (2) アルファベットによる氏名はファミリー・ネームを大文字で記載する。
9. 掲載誌等の記載例
 - a) IEEE Trans. Magn., Vol. 27, No.2, pp.845-848 (1993.8)
 - b) 福岡工大研究論集, 第26巻, 第1号, pp. 21-28(1993.10)
 - c) 電学論 C, Vol.113-C, pp.102-110(1993.3)
 - d) 日本物理学会講演概要集, 28P-YG-7(1994.3)
 - e) 平6九州連大, p.500(1994.10)

- f) 信学技報, PRU92-95, Vol. 92, No.2, pp.25-34 (1992.9)
- g) IEEE Ind. Appl. Soc. Ann. Meeting, Vol.III, pp. 1828-1835(1994.10)

III その他

- 1. 投稿者は、投稿規程第4条に基づき投稿論文原稿に同コピー1部を添えて附属図書館に提出する。
- 2. 投稿者は、原稿コピーを必ず作成して保存する。

- 3. 校正は、初校において万全を期し、二校・三校においては原則として新たな追加・削除等避ける。
- 4. 校正には、日数をかけないように早急に行う。

平成元年3月17日
平成2年11月9日一部改正
平成7年3月6日一部改正
平成9年12月2日一部改正
平成12年11月13日一部改正
平成18年11月29日一部改正
平成20年11月6日一部改正

主 要 雜 誌 略 語 表

略 語	雜 誌 名	略 語	雜 誌 名
ME誌	医用電子と生体工学	Appl. Opt.	Applied Optics
応用物理	応用物理学会誌	Appl. Phys. Lett.	Applied Physics Letters
第××回応物春季 予稿集	第××回春季応用物理学関係連合講 演会講演予稿集	Commun. ACM	Communications of the ACM
第××回応物秋季 予稿集	第××回秋季応用物理学学会学術講演 予稿集	Compt. & Oper. Res	Computers & Operations Research
画電学誌	画像電子学会誌	Electron. Eng.	Electronics Engineering
平××画電学全大	平成××年度画像電子学会第△回全 国大会予稿集	Electron. Lett.	Electronics Letters
計測制御	計測と制御	IEEE Electron Device Lett.	IEEE Electron Device Letters
情報処理	情報処理	IEEE J. Quantum Electron.	IEEE Journal of Quantum Electronics
情処学論	情報処理学会論文誌	IEEE J. Solid-State Circuits	IEEE Journal of Solid-State Circuits
情処学××研資	情報処理学会××研究会資料	IEEE Trans. Acoust., Speech & Signal Process.	IEEE Transactions on Acoustics Speech and Signal Processing
照学誌	照明学会誌	IEEE Trans. Aerosp. & Electron. Syst.	IEEE Transactions on Aerospace and Electronic Systems
映情学誌	映像情報メディア学会誌	IEEE Trans. Antennas & Propag.	IEEE Transaction on Antennas and Propagation
映情学技報	映像情報メディア学会技術報告	IEEE Trans. Autom. Control	IEEE Transactions on Automatic Control
映情学会××研資	映像情報メディア学会××研究会 資料	IEEE Trans. Biomed. Eng.	IEEE Transactions on Biomedics Engineering
平××映情学全大	××××年映像情報メディア学会全 国大会講演予稿集	IEEE Trans. Cable Telev.	IEEE Transactions on Cable Television
電学誌	電気学会雑誌	IEEE Trans. Circuits & Syst.	IEEE Transactions on Circuits and Systems
電学論	電気学会論文誌	IEEE Trans. Commn.	IEEE Transactions on Communications
電学会××研資	電気学会技術委員会××研究会資料	IEEE Trans. Comput.	IEEE Transactions on Computer
平××電学全大	平成××電気学会全国大会講演論文 集	IEEE Trans. Comput. Aided Des. Integrat- ed Circuits & Syst.	IEEE Transactions on Computer Aided Design of Integrated Circuits and Systems
信学誌	電子情報通信学会誌	IEEE Trans. Electron Devices	IEEE Transactions on Electron Device
信学論	電子情報通信学会論文誌	IEEE Trans. Inf. Theory	IEEE Transactions on Information Theory
信学技報	電子情報通信学会研究報告	IEEE Trans. Magn.	IEEE Transactons on Magnetics
平××信学総全大	平成××年度電子情報通信学会総合 全国大会講演論文集	IEEE Trans. Microwave Theory & Tech.	IEEE Transactons on Microwave Theory and Techniques
平××信学△△全 大	平成××年度電子情報通信学会△△ 部門全国大会講演論文集	IEEE Trans. Software Eng.	IEEE Transactions on Software Engineering
平××連大	平成××年電気四学会連合大会講演 論文集	IEEE Trans. Sonics & Ultrason.	IEEE Transactions on Sonics and Ultrasonics
平××△△連大	平成××年(度)電気関係学会△△ 支部連合大会講演論文集	J. Appl. Phys.	Journal of Applied Physics
ドクメン研究	ドクメンテーション研究	J. Opt. Soc. Am.	Journal of the Optical Society of America
音響誌	日本音響学会誌	J. Phys. Lett.	Journal de Physique Letters
音響学会××研資	日本音響学会××研究会資料	Jpn. J. Appl. Phys. Part 1~2	Japanese Journal of Applied Physics Part 1~2
NHK技研	NHK技術研究	Oper. Res. Proc. IEEE	Operatons Research Proceedings of the IEEE
		Proc. x-th AU-FIT- NUST Joint Seminar	Proceedings of the x-th Ajou Univ.-Fukuoka Inst. of Tech- Nanjin Univ. of Science & Tech. Joint Seminar
		Trans. IECE Japan (Section E)	The Transactons of the Institute of Electronics and Communication Engineers of Japan